

## 県民の暮らしの安心確保

県民が抱えるさまざまな痛みや思いに向き合いそれにしっかりと対応していくため、医療や福祉などの体制整備やきめ細かな支援を充実させていきます。

### 医師確保対策

現在、研修医は研修病院を自分で自由に選択できるようになっていますが、最先端の医療を学べる病院が多いことや、複数の診療科で研修できるカリキュラムが組まれていることなどから都市部に人気が集まり、地方は不足している状況にあります。

そこで、県内の臨床研修病院と県が連携し、「県医師臨床研修協議会」を設置して、研修医にとって魅力的な病院間研修プログラムや医師のキャリア支援の仕組みの検討を進めていきます。

このほか、県と

病院が一体となった医師募集の合同説明会や県外での募集活動など、研修医の確保対策にも取り組まします。



長崎大学病院での臨床研修の様子

## 女性医師の確保対策

医師の勤務は長時間で不規則なことも多いため、育児などで離職している女性医師の復帰が厳しい環境にあります。そのため女性医師の負担を軽くするための業務補助員の人件費補助など復職支援に向けた取組を進めていきます。



## 看護職員確保対策

医療の高度化や医療安全に対する意識の高まりを背景に、看護職員の質の向上と確保が緊急の課題となっています。

このため、新人看護職員研修事業などの資質向上に向けた取組を推進するとともに、無料職業紹介窓口を県北地区に増設します。

## 生活環境へのよりきめ細かな支援

現在、経済状況が非常に厳しい中、県民の皆さまはさまざまな不安や悩みを抱えていると思います。

このような状況の中で、子どもの成長段階に応じた子育て支援の充実、母子家庭の自立に向けた支援、ニート・ひき



乳幼児とふれあう男子生徒



看護職員研修の様子